

別紙5-2

不妊に悩む方への特定治療支援事業の実施医療機関における情報提供様式（任意記載）

本項目についての記載は、必須ではありません。下記記載様式を用いて、可能な範囲で記載して下さい。

医療機関名：医療法人いしかわクリニック

治療実績について

※ 施設における、不妊治療による治療成績を記載して下さい。

（記載様式）

当院において、データの揃っている直近の1年間（2018年1月から2018年12月まで）に、治療開始時点において35歳以上40歳未満である女性に対して実施した治療の実績は以下の通りである。

【新鮮胚（卵）を用いた治療成績】

	IVF-ET	Split	ICSI	合計
採卵総回数（回）	44	4	29	77
移植総回数（回）	29	3	22	54
妊娠数（回）	6	0	4	10
生産分娩数（回）	2	0	4	6
移植あたり生産率（%）	7	0	18	11

IVF-ET：採卵により得られた全ての卵子に対し、体外受精を実施

Split：採卵により得られた卵子に対し、体外受精と顕微授精に分けて実施

ICSI：採卵により得られた全ての卵子に対し、顕微授精を実施

【凍結胚を用いた治療成績】

	融解胚子宮内移植
移植総回数（回）	81
妊娠数（回）	45
生産分娩数（回）	37
移植あたり生産率（%）	46

来院患者情報

※ 施設を受診した患者数について記載して下さい。

（記載様式）

データの揃っている直近の1年間（2018年1月から2018年12月まで）に体外受精・顕微授精・胚移植を行った患者数（実数）は

25歳未満：（ 0 ）名

25歳以上30歳未満：（ 11 ）名

30歳以上35歳未満：（ 48 ）名

35歳以上40歳未満：（ 87 ）名

40歳以上43歳未満：（ 53 ）名

43歳以上：（ 37 ）名

データの揃っている直近の1年間（2018年1月から2018年12月まで）に精巣内精子採取術を行った患者数（実数）は

20歳未満：（ 0 ）名

20歳以上30歳未満：（ 0 ）名

30歳以上40歳未満：（ 0 ）名

40歳以上50歳未満：（ 0 ）名

50歳以上：（ 0 ）名

治療指針について

※ 施設における統一された治療指針がありましたら記載して下さい。

（治療指針の例）

- ・治療のステップアップ・ステップダウンに関する考え方
- ・年齢に応じた治療の選択
- ・調節卵巣刺激法（自然周期・低刺激、高刺激等）の選択等

患者さんの不妊原因・年齢・経済的な背景からのご要望を加味して総合的に治療方針をご相談しながら決めていきます。

一般的に負担の少ない治療法よりもそれが多い治療法の方が周期当たりの妊娠率は高くなりますが、どの治療法がそのご夫婦に最善かを事前に決めることは困難です。したがって、負担の少ない（妊娠率の低い）治療から初めていき、結果が出ないときには負担の多い（妊娠率の高い）治療にステップアップをするようにお勧めしています。ただし、女性の年齢が高い方の場合には早めのステップアップをお勧めします。

ARTの際には副作用に注意して調整排卵刺激を原則として行います。これは採卵当たりの妊娠率が高く期待できるからです。高刺激を行っても複数の卵が発育しない方には経済的な負担が少ない低刺激周期を行います。自然周期はがん患者さんなどの緊急時を除き行っておりません。